

おぢや市議会 だより

NO. 101

令和3.7.25

編集発行
小千谷市議会

☎83-3505

OJIYA CITY ASSEMBLY



投稿者：川上英樹さん 撮影場所：山本山

タイトル「夏色全開」 山本山の夏全開の景色に元気をも
らいました！

本号より表紙画像をInstagramで募集しています。
「#だいすきなおぢや」を付けて大好きな小千谷の風景
を投稿して下さい。

- 第1回臨時会議決結果 P 2
- 第2回定例会議決結果 P 2
- 常任委員会報告 P 3
- 一般質問 P 4～9
- 議会日誌 P 10
- 雪あかり、編集後記 P 10

— 主な掲載内容 —

第1回臨時会議決結果

5月12日に開催し、専決処分
承認、財産の取得の議決、正副議
長を選出、各委員会等の新しい構成
を決定しました。

専決処分

- 専決処分（小千谷市税条例等の一部改正）
（全会一致）
- 専決処分（小千谷市都市計画税条例の一部改正）
（全会一致）
- 専決処分（令和2年度小千谷市一般会計補正予算（第10号）
（全会一致）
- 専決処分（令和3年度小千谷市一般会計補正予算（第1号）
（全会一致）

財産の取得

- （ロータリ除雪車）（全会一致）

議会構成等の決定

- ▽議長 本田 剛
- ▽副議長 駒井 和彦
- ▽総務文教委員会
◎森本恵理子

- 平澤 智
- 大矢 弘光 住安 康一
- 内山 博志 久保田陽一
- 長谷川有理 本田 剛

民生産業委員会

- ◎吉崎 進
- 阿部 守男 駒井 和彦
- 上村 行雄
- 佐藤 栄作 佐藤 隆一
- 田中 淳 山賀 一雄

議会運営委員会

- ◎久保田陽一
- 内山 博志
- 平澤 智 佐藤 栄作
- 森本恵理子 住安 康一
- 吉崎 進

- ▽魚沼地域特別養護老人ホーム組合議会議員 駒井 和彦
- ▽新潟県後期高齢者医療広域連合議会議員 吉崎 進

その他

- 小千谷市監査委員（田中淳）の同意
（全員賛成）

第2回定例会 議決結果（6月7日から6月25日まで開催）

議案番号等	議 件 名	議決状況	議決結果
条 例	議 案 第34号 小千谷市税条例の一部を改正する条例の制定について	全会一致	原案可決
	議 案 第35号 小千谷市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	〃	〃
	議 案 第36号 小千谷市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	〃	〃
	議 案 第37号 小千谷市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	〃	〃
	議 案 第38号 小千谷市企業立地促進条例の一部を改正する条例の制定について	〃	〃
予 算	議 案 第39号 令和3年度小千谷市一般会計補正予算（第2号）について	〃	〃
その他	議 案 第40号 人権擁護委員候補者の推薦について（田村恵美子氏）	〃	同 意
発 議	発議案第3号 30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書	〃	原案可決
請 願	請 願 第1号 30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書採択を求める請願	みなし	採 択

※議決状況の「みなし」は、その請願に対応した同趣旨の意見書の発議案が提出され、先に採決したので、その議決結果をもって採択されたものとみなします。

議員永年表彰者

全国市議会議長会

10年表彰

佐藤 隆一
久保田陽一

吉崎 進
長谷川有理

北信越市議会議長会

10年表彰

佐藤 隆一
久保田陽一

吉崎 進
長谷川有理

議長就任の挨拶



議長
本田 剛

この度、令和3年5月12日臨時会におきまして議員各位のご推挙により議長に就任させて頂きました。身に余る光栄であり、重大な責務と受け止め議会運営に努めてまいり所存でございます。本市に於いては人口減少問題、少子高齢化による社会保障など、各分野で重要な案件や課題が山積みされております。新型コロナウイルス感染症流行で日常生活、経済情勢も厳しい状況が続いております。当市もワクチン接種も進んでおりますが、早期収束を願ひ、市民生活、地域経済の回復に取り組んでまいります。市民の皆様からの負託と信頼に応えるために公平、公正、円滑な議会運営に努力を傾注する決意であります。今後、議員各位、市民の皆様からのご協力、ご鞭撻を賜りますことをお願い申し上げます。就任のご挨拶とさせていただきます。

副議長就任の挨拶



副議長
駒井 和彦

この度の市議会臨時会におきまして、議員各位のご推挙により副議長に就任致しました。僅か2期目中間点の就任ですが、副議長として議長をしっかり補佐していきます。又、他方で副議長としての責務の重大さを感じ、身の引き締まる思いです。現在、新型コロナウイルス感染拡大という未曾有の困難に対し、国、自治体共に連携し、その対応に取り組んでいます。当市においても、ワクチン接種は順調に進み、経済対策についても出来得る限りの支援をしていくとされています。私達市議会としても、市民生活の安心・安全の為、行政と両輪となって支援・協力していきます。一方で議会としての活性化や権能強化等議会改革を進めます。今後共、皆様方のご指導、ご鞭撻をお願いし、就任のご挨拶とさせていただきます。

常任委員会報告

総務文教委員会

委員長 森本 恵理子

本委員会に付託されました議案第34号、議案第39号及び請願第1号の以上3件につきまして審査した結果、議案2件について原案のとおり可決すべきものと決しました。また、請願1件を採択すべきものと決しました。

○議案第39号 令和3年度小千谷市一般会計補正予算(第2号)について

委員会での意見・討論

討論として、長引くコロナ禍の中で消費マインドが下がっていると聞いている。飲食業、サービス業など経営難に陥っていると聞いている。飲食業、サービス業への家賃補助など直接的な支援をする必要があると考える。以上の意見を付して賛成、というものがありました。

○請願第1号 30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書の採択を求める請願について

採決の結果、全員異議なく採択すべきものと決しました。

民生産業委員会

委員長 吉崎 進

本委員会に付託されました議案4件について、慎重に審議した結果、可決すべきものと決しました。

○議案第35号 小千谷市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について

本案は保険税の減免を令和4年3月31日まで延長するものであります。

○議案第36号 小千谷市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について

本案は介護保険料の減免を令和4年3月31日まで延長するものであります。

○議案第37号 小千谷市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について

本案は新型インフルエンザ等対策特別措置法を感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に置き換えるものです。

○議案第38号 小千谷市企業立地促進条例の一部を改正する条例について

本案は法律第二十五条を第二十六条に変更するものです。

市政の内容を聞く

一般

質問

駒井 和彦 議員



新型コロナウイルス感染対策等について

質問 当市の今後のワクチン接種体制やスケジュールの最新情報は、

答弁 64歳以下は、7月11日より基礎疾患を有する方から優先接種開始予定。その後は重症化リスクの高い方へ進めていく。予約方法はこれまで通り変更無し。個別接種も開始出来るよう、調整していく。市民全員の接種完了の目安を、10月～11月と見込む。

質問 接種率をどう見込むか。

答弁 予約率約90%と同等と見込む。一方で接種できない方への誹謗中傷の無いよう、配慮していく。

質問 当市のワクチン接種後の副反応の現状について。

答弁 重篤な副反応は無い。軽度な副反応の報告はあるが、詳細は把握していない。

質問 国会の場においても提案がなされた、緑茶の効能を市民に大きく発信し、一大キャンペーンを

展開してはどうか。

答弁 緑茶に含まれるカテキンの抗酸化・抗ウイルス、殺菌の効能は承知しているが、コロナウイルス感染予防効果は現在、立証されていない。従って現時点で法令に抵触の恐れがあり実施出来ない。

質問 市内飲食店への更なる経済支援について。

答弁 プレミアム商品券を7月から販売開始予定。補正予算の通り、宴席・会席事業者応援キャンペーンを提案している。

質問 ちぢみの里の現状認識とそれなりの支援について。

答弁 当市としてもこの間、様々な支援策を展開してきた。今後も来館者増に繋がる取組を支援していく。

質問 新型コロナウイルス感染拡大は特に少子化を加速させた。今こそ人口減少問題に対して、政策を総動員して取り組む必要がある。包括連携協定を結んだ団体と「人口減少問題プロジェクトチーム」を立ち上げてはどうか。

答弁 個々にそれぞれ目標がある。現時点で、常設のプロジェクトチームの立ち上げの考えはない。

住安 康一 議員



労働者協同組合法、高齢者の情報格差、個別計画の在り方、ペット同行避難について

質問 労働者協同組合法に関して、この法律の普及啓発、組合の設立に関する相談、補助金、立ち上げ後の支援などの体制づくりを行うべき。また、マニュアルやパンフレットの制作が必要ではないか。

答弁 市内で組合を設立したいとの相談があれば、所管行政庁と連携し、パンフレットなどの各種情報の提供を含めた対応をしたい。

質問 高齢者の情報格差をなくす施策について。

答弁 基本的には「可能な限り民間での展開を促し、補足する形で行政が取り組むこと」であるものと認識。本年5月の高齢者学級において、LINE電話の講座を実施したほか、生涯学習集中セミナーにおいて、講座を予定している。

質問 避難行動要支援者の個別計

画の在り方について、個別計画策定にあつては、福祉専門職の参画する仕組みが重要だ。作成済みの個別計画であつたとしても、一部の方の支援にあつては、福祉専門職の方が参画した見直しも必要だ。今後の取り組みについて伺う。

答弁 民生委員からも参画してもらい、要支援者の状況を反映し、計画を作成している。今後、新たに介護及び障がいなどのケアプランを作成する必要が生じた方には、専門職からアドバイスをいただく。

質問 避難所のペット用スペースは前もって準備すべき。また、ペットの受け入れ可能や不可の避難所を前もって公表すべき。平常時から飼い主に対して同行避難に必要な事項の普及啓発が必要だ。

答弁 その時の状況での最善の形で受け入れを行う。災害の種類や規模により避難者やペット数も異なるため、スペースはあらかじめ定めず、臨機応変に対応する。「飼い主のしつけや健康管理」、「避難用品や備蓄品の確保」、等は飼い主の責任において実施してもらう。

平澤 智 議員



地域おこし協力隊を含めた 移住定住施策について

質問 現在の地域おこし協力隊の現状に対しての行政としての考え方について。

答弁 マッチングミスを防ぐための事前確認や面接の実施を行っている。任期中の担当課や地域支援員によるサポートも実施している。

質問 地域おこし協力隊OBに対してのフォロー体制について。

答弁 3年間の任期後半に入る頃から自立に向けての相談や起業や事業継承補助金、起業セミナー等を提案し対応している。

質問 地域プロジェクトマネージャー制度について。

答弁 外部人材による橋渡しを必要とする重要プロジェクトに導入することは可能であり、今後検討する。

質問 移住定住に対して当市としての考えについて。

答弁 まず当市を知っていただく取組を継続して展開する。常盤橋プロジェクト参画による当市アプリや、SNS等の整備やインターネット検索により、住宅情報や事業所情報を行う。

速達性を持った情報発信体制について

質問 緊急告知ラジオの情報発信ツールとしての利用に対して、クリアしなければならない課題について。

答弁 緊急告知ラジオでの情報発信は、FMなおかと締結している。「災害時における緊急情報放送に関する協定」により発信しており、通常番組を一時中断し緊急的な情報に限り放送する為、お知らせ等については定時放送にて実施している。

質問 デジタル機器での情報発信以外での速達性を満たした方法について。

答弁 FMにいがたの「おぢやBravo」やFMなおか「小千谷市からのお知らせ」、新聞報道、NHK新潟放送局の番組内での地域情報発信を検討する。

上村 行雄 議員



当市の農政について

質問 「人・農地プラン」の実質化に向けた進捗状況と課題等は現在あるのか伺う。

答弁 令和元年度よりアンケート調査を実施し、地凶化による現状把握や研修会、地域の話し合いを経て、令和3年3月22日に公表し、農林水産省から示された実質化は完了した。課題としては、地形状のの違いによる農地の経営状況が異なることであるが、農業者自身が考え、自発的に地域で話し合いの継続が必要で、当市としても今後話し合いが継続されるよう関係団体や機関と連携し、農業者を支援してまいりたいと考えている。

質問 当市産の食糧を知って食べってもらう「食育」と「市消市産」並びに小千谷産米の消費拡大の観点からの今後の取り組みについて見解を伺う。

答弁 全国でも誇れる地元産米の

美味しさを実感してもらい、生産者への感謝と食を大切にする心を育む重要な役割を果たしている。今後も小千谷産コシヒカリを使用した米飯給食を進めていく。

浄水場の稼働状況と今後の方向性について

質問 無人化に向けての見極めと今後どのように無人化を進めていくのか伺う。

答弁 供用開始から2年間は、安全で安定した運転方法を確立するため対応してきた。今年度から平常時の夜間は中央監視室から監視や遠隔操作する形で運転を開始した。プラント内の機器の巡視・点検など最小限の工程は残りますが、中央監視・制御による無人化は、概ね達成されたものと考えている。

質問 ガス事業の民営化も議論されている中、今後も浄水場の運転管理業務を包括的に委託することがないのか、などの水道事業の方向性について見解を伺う。

答弁 浄水場の運転管理については、現状の体制を継続することとしており、包括的な委託を行うことは今のところ考えていない。

阿部 守男 議員



旧小千谷総合病院跡地整備事業について

質問 図書館建設工事発注に市内業者の参画は。

答弁 旧小千谷総合病院跡地事業については、図書館等複合施設設計業務を本年3月に発注し、令和4年4月28日を履行期限として作業を進めている。現段階では施設建設工事の発注方針を申し上げることはできない。これまで大規模な工事の発注においては、適正な品質と安全性、効率性の確保、並びに市内建設業者の受注機会の確保の観点から、工事内容に応じて企業体制度を活用してきた。受注機会の確保は、施工能力の向上や雇用の確保に繋がるものであり、企業体制度の活用を含めて市内建設業者の受注機会確保に配慮する。

質問 歯科医師会との協議は。

口について 中学校におけるフッ化物洗

教育長答弁 県が取りまとめた「小児の歯科疾患の現状と歯科保健対策」の令和元年度版によると、県内30市町村別のフッ化物洗口状況は、実施していない市町村は小千谷市を含めて3市であるが、全ての学校で実施しているわけではない。県内239校のうち135校、率にして約56%となっている。小千谷市以外の2市に確認したところ、実施計画を立てる予定はないとの事。中学校におけるフッ化物洗口の実施の有無については、まず、専門家である、学校医、学校歯科医、学校薬剤師、校長、保健主事、養護教諭の代表で組織される、新潟県学校保健会小千谷支部評議委員会ですべきものと考えている。今年度7月に開催予定の新潟県学校保健会小千谷支部評議委員会において、今後の中学校におけるフッ化物洗口について協議する予定となっている。協議内容を受けて、最終的には教育委員会が判断したい。

佐藤 隆一 議員



地産地消への政策提言

質問 小千谷市として「二酸化炭素排出ゼロ宣言」を行い、普及を進める考えはありませんか。

答弁 形式的な宣言では意味がありません。「小千谷市エネルギービジョン」を具体化する「地球温暖化対策地方公共団体実行計画」と合わせて宣言します。

質問 リサイクル率は年々低下しています。リサイクル広場を市中に移転し、「燃やして捨てる」から「分別」の徹底へ方針転換をする考えはありませんか。

答弁 1094件の提供品の中から、修理した205件を市民に無償提供しています（令和2年）。住民の理解と行動の高まり、意識の醸成を第一に進めます。

質問 「ガス事業の売却」について、答申の「早期に売却すべし」の意味について伺います。

答弁 質の高いサービスを提供す

るにあたり、売却によって市民の受けるメリットが最も大きく、スピード感をもって対応すべきと理解しています。基礎資料となる判断材料の取りまとめを行っていきます。

質問 ガス事業は行政上どのように位置づけられますか。売却する必要はないと思います。

答弁 ガス事業は市民福祉を増進するうえで重要です。しかし、ガス小売り事業の全面自由化により公営事業として継続する必然性は失われています。

質問 都市ガスの需要拡大を進めるべきではないですか。

答弁 今年に入りエネファームが可能となったことから関係者と準備を進めています。



小型風力発電ハイブリッド

佐藤 栄作 議員



GIGAスクールについて

質問 ICT上で起こる問題について学校は社会性、感受性、道徳性、思考力、判断力、表現力の育成にどう取り組んでいくのか。

教育長答弁 約束や決まりを守ること、相手を思いやること、自他の権利を尊重すること、自分の責任や義務について考え行動することを考えさせ、道徳性の育成に取り組んでいる。社会性や感受性については、学校生活の中で地域の人と係わる体験活動、行事をやり遂げた後の感動体験を通じて育成していく。また、思考力、判断力、表現力の育成については、各教科等でICTを活用し様々な事象に対して情報の関連付け、新たな意味を見出す学習活動、問題解決に向けた情報技術の活用、情報発信したりする学習活動を通して育成していく。

質問 GIGAスクールの保護者

への周知、認知度について

教育長答弁 4月に市立学校の保護者全員におたよりを配布し活用、周知、認知に努めている。

質問 ICT支援員配置による影響と研修の実施状況について。

教育長答弁 授業への活用は各学校が本格的に取り組み始めている。教員のスキルの標準化や底上げを図っていく。研修については、県の教育センターから講師を招いての研修、校内研修などで、活用や指導力の向上への取り組みを進めてまいりたい。

質問 災害時、不登校児童生徒に對して、在宅でのパソコンの持ち帰り、学校と家庭等を繋いだオンライン環境整備はどこまで進んでいるのか。

教育長答弁 災害発生時にオンライン授業については対応できない状態である。長期間学校を休んでいる児童に、試験的にパソコンを持ち帰らせた事例の報告を受けている。

質問 子供たちの近視の対策は。

教育長答弁 おおむね30分のパソコン使用に對してしばし目を休ませる対応を学校に指導している。

久保田 陽一 議員



ヤングケアラーの支援について

質問 当市の現状認識とその把握について。

答弁 現在、要保護児童対策地域協議会が要支援・要保護児童として把握しているケースの中では、ヤングケアラーに該当する子どもはいないものと捉えている。

質問 国や県からの通知や指導は。

答弁 県から要保護児童対策地域協議会に對して、ヤングケアラーの概念について認識するとともに、ヤングケアラーに對する適切な支援や関係機関における情報共有などについて、留意する旨の文書を受けている。

質問 当市の窓口はどこなのか。

答弁 相談窓口は健康未来こども課、福祉課、学校教育課をはじめ、これらの課が所管する施設など広くあるべきと考える。中心となる

担当課は、要保護児童対策地域協議会の調整機関としての役割を担う健康未来こども課となる。

質問 今後取り組む施策や支援について。

答弁 要保護児童対策地域協議会を構成している関係機関や団体を中心として、ヤングケアラーの理解及び認識を深め、ヤングケアラーかもしれないという視点を持つことにより、早期発見・早期対応に繋がると考え、介護・障がい・学校・児童福祉など関係機関への周知・啓発に努めていきたい。

学校のバリアフリー義務について

質問 当市の小中学校の現状は。

教育長答弁 市内13校のうち、車椅子用トイレは6校に、エレベーターは4校に、スロープは全ての小中学校に整備されている。

質問 ソフト面でのバリアフリーへの対応や対策は。

教育長答弁 ハード面を補うためにもソフト面での対応は重要。意識のバリアフリーに関し、授業でお互いが助け合う心や態度を熟成するための教育を一層充実していく必要がある。

市政の内容を聞く

一般

質問

市政の内容を聞く

一般

質問

長谷川 有理 議員



新型コロナウイルスワクチン接種

質問 クラスタ化を防ぐためにも、接種会場の保健師、看護師、

タクシードライバー、保育士、幼稚園教諭だけでなく、介護事業所、障がい者施設職員、ごみ収集作業員、教職員を余剰が生じた際の優先接種に充てるべきではないか。

新型コロナウイルス感染症禍の災害対応

質問 内閣府の「福祉避難所の対象の事前公表」方針周知を受け、当市はいつ、どのような形で公表するのか。従来より当市でも重複障がい児の保護者からも公表を切望されていた実態がある。

答弁 調査・整理が必要なので、いつ、どのような内容で公表するかは決定していない。

質問 災害弱者の個別計画作成を支援すべきと考えるが、方針は。

答弁 95自主防災会の未作成15組

織の作成支援していく。
県の地域医療構想を受けて

質問 県市長会「地域医療対策特別委員会」の委員長を務める大塚市長に、県構想への見解を伺う。

答弁 グランドデザインが示されたことを一定評価する。今後は医療圏域毎に議論することになる。

質問 小千谷総合病院は「地域包括ケアシステムを支える医療機関」の中でも「救急拠点型」か「地域密着型」のどちらになるのか。

答弁 地域医療構想に私の考えは反映されない。発言する機会はあるからない。医療圏で議論になる。

質問 小千谷総合病院の今後は当市の重要な課題だ。県構想を受けて市はどう対応するのか。産科の維持は出来るのか、厚労省の再編・統合の議論が必要なリストから外れるのか。

答弁 要望は出来るが受け入れてもらえるかわからない。

質問 医療・福祉現場へのICT化支援や当市の診療所開設支援事業補助金や介護資格取得支援補助金の更なる支援や積極的な周知を。

答弁 効果的な方法を検討する。

内山 博志 議員



米価暴落への対応について

質問 兼業農家が耕作地を多く占めている。大規模農家も受託制限をするところが出ている。機械が駄目になったらやめるとい声も広がっている。兼業農家の農機具購入、修理の補助など必要ではないか。年77万トンの輸入米制限を国に求めるべきではないか。生活困窮者への「全国共通お米券」の利用を検討すべき。

答弁 現時点での補助は考えていない。国へ輸入制限を要望する考えはない。昨年、全国市長会として経営所得安定対策、担い手対策等、要望している。お米券は当市の消費拡大に直接つながらないから利用しない。

柏崎刈羽原発再稼働への対応

質問 UPZ議員研究会の行ったアンケート結果は、約8割超が原発再稼働の事前了解を求めている。この声をどう考えるか。市民の意

思の把握はどう行うか。

答弁 報道で承知しているだけなのでコメントは差し控える。知事は広域自治体の長として「県民に信を問う」としている。3つの検証での対応を見守っていく。市町村による研究会を通じ国、県、事業者に徹底した安全対策を求めていく。

再生可能エネルギーの促進策

質問 再生可能エネルギーの普及状況はどうか。再エネ普及へ積極的に支援すべきでは。

答弁 片貝総合センター、錦鯉の里、防災公園に予定。民間は把握していない。補助制度を導入したが、5月末現在予算が残っているので周知する。

新型コロナウイルス禍でのワクチン接種等の対応

質問 市内のワクチン接種の終了はいつか。寝たきりの方などへの対応は。

答弁 国のワクチン供給計画が不明確だが、10月から11月終了予定。寝たきりの方などのワクチン接種は、医師会、小千谷総合病院と相談し、訪問診療時などで調整している。

森本 恵理子 議員



飲食店支援について

質問 飲食店の存在は小千谷の魅力に直結すると考える。市民の不安を払拭し、安心して利用できる施策が必要では。テイクアウトウエブサイトの支援や混雑状況可視化サービス等行うべきでは。

答弁 県の「にいがた安心なお店応援プロジェクト」が開始したので、当市の「宴席・会席事業者応援キャンペーン」に繋げていきたい。テイクアウトサイトに関しては事業者側の要望があれば事業化支援していきたい。

魅力あるまちづくりについて

質問 今後の宅地造成の予定は。

答弁 令和6年度までに15区画を目標としており、目標達成のため宅地開発支援事業を改正した。

生理の貧困について

質問 表面的には経済的困窮の問題だが、本質的には社会の理解が不足してきた大きな問題。定期的

な防災備品の入替の際に希望者に配布してはどうか。

答弁 今後、検討していく。

質問 「子ども・若者育成支援推進大綱」の中で、学校で生理用品を必要とする児童生徒への対応がなされるよう促すとあるが、配布の予定はあるか伺う。

教育長答弁 生理用品のことで困った場合、養護教諭に申し出て、その都度対応している。

質問 トイレットペーパーと同じ感覚で女性にとって生きていく上で必要なものだから置いてあるという環境を作ることが大事。生理用品を備品として市内小中学校のトイレに常備するべきではないか。

教育長答弁 養護教諭に申し出ることで生理用品が手に入らない状況の背景にある諸問題に気づき、寄り添うことが大切と考える。

質問 授業で生理痛や月経前症候群などの学びを深めることで、生理休暇がとれる社会を作ったり、本来の意味で生理の貧困が解消できる社会になっていくのでは。

教育長答弁 性別問わずに学習するなどの工夫を行うことも大切と認識している。

本会議をインターネット中継しています

市議会ホームページからインターネットライブ中継でご覧いただけます。本会議当日のライブ中継のほか、本会議終了後、概ね1週間後には、録画映像も配信しています。市政への一般質問で各議員の顔写真の下に二次元コードを掲載しています。スマートフォンやタブレット端末で読み取ると、各議員の一般質問の録画中継をご覧いただけます。また、会議録も市議会ホームページで閲覧できます。(令和3年第2回定例会の会議録掲載は、8月末頃となります。)

URL <https://www.city.ojiya.niigata.jp/site/gikai/>

小千谷市議会

検索

市議会を傍聴してみませんか

第3回定例会開催予定

- | | | |
|---------------|-----|-------------------|
| 9月1日(水) | 第1日 | 議案上程説明 |
| 9月2日(木)~7日(火) | | 各常任委員会で審査 |
| 9月16日(木) | 第2日 | 一般質問 |
| 9月17日(金) | 予備日 | 一般質問(質問者が多い場合に開催) |
| 9月22日(水) | 最終日 | 委員長報告、採決 |

※日程は変更される場合があります。各委員会の日程、団体での議会傍聴については議会事務局(Tel.83-3505)へお問い合わせください。委員会の傍聴については、あらかじめ議会事務局へお申し出ください。

市議会だよりをアプリで配信中



スマートフォンやタブレット端末で使える無料アプリ「マチイロ」で配信中です。ぜひご利用ください。

Android用

iPhone用



市政の内容を聞く

一

般

質

問

〈4月〉

- 2日 広聴広報委員会
- 12日 広聴広報委員会
- 13日 議会運営委員会
- 30日 議会運営委員会
- 〃 会派代表者会議
- 〃 手話言語条例検討委員会

〈5月〉

- 6日 会派代表者会議
- 12日 第1回臨時市議会
- 31日 議会運営委員会

〈6月〉

- 7日 第2回定例会（本会議）
- 〃 広聴広報委員会
- 〃 議員クラブ会
- 8日 常任委員会連合審査会
- 9日 総務文教委員会
- 10日 民生産業委員会
- 22日 議会運営委員会
- 〃 本会議（第2日）
- 23日 本会議（第3日）
- 25日 議会運営委員会
- 〃 本会議（第4日）
- 〃 広聴広報委員会
- 〃 議会改革推進委員会



野沢 祐介（平沢町）

私は、昨年から平沢町の成年会である平沢輝志會の会長をしているのですが、おぢやまつりがコロナの影響で今年も中止になり、これで2年連続まつりがありません。

昨年は祭りの中止を受け、平沢町内のみを万灯で運行したり、町内公会堂にて万灯を飾り、見に来てもらう「灯」イベントに参加し、その後、秋からは次年度こそはおぢやまつりが開催されるようお願いして、今年度の万灯作りを行ってきました。しかし残念な結果となってしまいました。大体どこの会も同じだとは聞きますが、結成当初の勢いを保つことは難しく、少しずつ

少しずつ勢いも下がってしまっている中の2年連続でのまつり中止。そして自分が会長になって一度もまつりに出ていない。正直かなりへこたれました。

そんな中、何度か応募していた万灯船を直すための宝くじ助成金にやっと受かりました。もうすでに動いていて昨年から作っていた万灯は取り外し保管。万灯船は6月に解体が終わり、車体の整備に入っています。整備後に万灯船をどんな形にしてもらおうか等、すでに楽しみでしょうがありません。そして、来年度以降も今までのようなおぢやまつりはコロナが終息しない限り難しいとは思いますが、来年こそはどんな形であれ、おぢやまつりが開催され、新万灯のお披露目ができるように願っています。

今はいよいよ窮屈でやりたいことも中々出来ない時ですが、そんな中でも少しでも楽しんでやることを見つけて平沢町を明るくして、そして、そこから小千谷を明るくできればなと思っています。

編集後記

この度、新しい「おぢや市議会だより」の編集委員が決まりました。

市民の皆様にも市議会のことをよりご理解いただけるよう紙面を工夫し、これまでも様々な改善を重ねてきました。近年は議案に対する議員賛否の状況表を取り入れたり、議員の写真を載せたり、一部カラー化したり、一般質問の様子を簡単に見られるQRコードの導入や文字を大きくしたりなど行ってきました。今後も皆様のご意見、ご感想などお寄せいただく中で、よりよい紙面になるよう努力していきたいと思えます。

どうぞ宜しくお願い致します。

広聴広報委員会 座長 駒井 和彦

「おぢや市議会だより」

- 編集委員長 内山 博志
- 副編集委員長 上村 行雄
- 編集委員 佐藤 隆一
- 編集委員 住安 康一
- 編集委員 平沢 智
- 編集委員 森本 恵理子
- 編集委員 吉崎 進